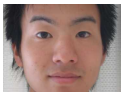
第一回　笑顔発見塾　報告書

日時：2005 年 5 月 11 日（水）18：30～20：00
場所：パレア第二会議室
参加人数：約 50 人
講師：江越哲也氏　（パーソナリティ）
熊本いいくに会主催　　NPO 法人ヒューマン･ライフ･スクール共催



今回のレポーターは、熊本大学文学部２年、木村健太郎です！よろしくお願いします！！

「笑顔」をテーマにした講座「笑顔発見塾」。自分らしい笑顔を作るためには？自分の笑顔に自信を持つためには？今回は特別講師として、フリーアナウンサーとして活躍中の江越哲也氏にお越しいただきました。

まずは声の話から。みんなで立っての発声練。最初は遠慮していたみなさんの声も、江越さんの後押しで段々大きくなっていきます。「笑顔で明るく・上へ高く・３m 先へ強く」を意識して声を出すことで普通の 8 倍の声が出るという指摘。これを続けることで元気になり、そして笑顔が変わってくるんですって！

「イメージして話すということも大切な要素の１つ」山に登った後のさわやかな気分、その中で叫ぶ「やっほー！！」山頂に立っているイメージの中で叫んだ「ヤッホー！！」はとても自然で大きく、イメージ通りのさわやかな声が出ました。まさに、イメージが声を変える！ですね。

また「会話＝キャッチボール」という、よく耳にするお話ですが、これが中々できないんです。キャッチボールは相手に合わせ、ボールが帰ってくるまで待つ、という基本があります。しかし、「返ってくるまで待つ」「相手に合わせて投げる」という、単純なことが今出来ていないということを、改めて感じました。

最後に、江越さんの自論について話していただきました。「話は･･･実は･･･誰も聞いていない！」という、江越さんが今までフリーアナウンサーとして活躍される中で出た結論。会場内はその結論ビックリすると共にどっと笑いが溢れました。しかし、話は誰も聞いていないからこそ、自分の話の中で印象を一つだけ残すことが大切。

　例えば自己紹介。皆さんは自分の名前を言う時、無意識のうちに苗字ではなく名前のほうを強く、そして中には聞き取れないくらいに早く言ってしまうそうです。それをちょっと逆にして苗字を強く言うように、そしてゆっくり言うだけで、残る印象が違うんです！みなさんも実験してみてください！このようなことはみんな知らないしできていないから、少しだけできることでとても目立つことができる、ということでした。では、みんな同じことを言いますが、「野良猫の餌付けが特技の江越です。」というと、みんなの興味を引くこと間違いなし！そんな「えっ！？」と思わせることで、印象付けることが大切だそうです。

　また声の種類は、のど・胸・腹からでる 3 種類がありますが、本音として届く腹声が一番残るそうです。つまり、腹を割って話す、本音の話が一番心に残るんです。

　声を変えると心が変わる、心が変わると声が変わる、という心と声の相互作用があっていい笑顔ができるのだという話で、最後にお話を締めていただきました。軽快なトークと溢れるユーモアで会場は常に笑いが絶えませんでした。その中にいるだけで、少しいい笑顔をしていることに気付きました。参加者の皆さんも、お帰りになる時はとても明るく、生き生きしていらっしゃいました。「楽しかった！」「おもしろかった！」「勉強になった！」という声が、あちらこちらから聞こえてきました。

　第２回の笑顔発見塾は、「HOW　TO　EGAO」ということで、「笑顔」の作り方を教えていただきます。次回もまた楽しい講座になること間違いなしです！ぜひ、ご参加ください♪